

第13回広陵町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：平成28年5月9日（月）10：00～11：00

場 所：クリーンセンター広陵3階大会議室

出席者：山村会長、東洋一委員、笹井委員、東秀行委員、木村委員（代理：中井様）、村上委員（代理：境内様）、平塚委員、霜永委員（代理：今西様）、山野委員（代理：上浪様）、西本委員、石川委員（代理：米田様）、島田委員（代理：鋤田様）、古田委員、吉田委員

欠席者：福寫委員、吾妻委員、吉崎委員

1 開会進行（事務局）

2 会長あいさつ

みなさんおはようございます。いろいろな角度からご議論いただいていることに感謝いたします。4月から広陵元気号の試行運行をしていますが、これまでの実績を踏まえて、より良いものにしていく必要があります。公共交通は、総合戦略の住みよいまちづくりに向けた絶対条件でもあります。バスは3台に増車し、高い評価もいただいているが、いろいろな不満の声もある。本格運行に向けて協議をお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

3 議題

（1）平成27年度広陵町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算について

【事務局説明】

資料1の説明。

【質疑応答】

○会長

ご意見ご質問はありませんか。ございませんので、承認とさせていただきます。

（2）平成28年度広陵町地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算(案)について

【事務局説明】

資料2の説明。

【質疑応答】

○会長

ご意見ご質問はありませんか。70万円をかけて式典は何をするのでしょうか。

○事務局

車両ラッピングのお披露目式とそのほかにアンケート調査を実施する予定です。

○会長

ご意見はございませんか。ございませんので、承認とさせていただきます。

(3) 広陵町地域公共交通網形成計画について

【事務局説明】

資料3の説明。

【質疑応答】

○会長

ご意見ご質問はありませんか。

○委員

補助金が300万円の増額ということですが、補助金はどういった事業につくものなのか。協議会に入るのか、町に入るのか。

P. 60に基本案とあり、従来のバス停が改正になったが、地元からは、バスが通らなくなったという声がある。有料化までに再検討できないか、検討をお願いしたい。

○事務局

補助金は、実施後の運行の赤字補てんになる。形成計画の策定で、増額が見込まれる。補助金の扱いは、奈良交通に運行委託しているので、奈良交通に補助金が入り、委託料で相殺する予定。

バス停については、利用者アンケートを実施しており、その結果を踏まえて、運行ルート、ダイヤを検討していきたいと考えている。運行補助をもらう前提もあるので、その点も考慮していきたい。

○委員

これまでに通っていた停留所では不便になったという声もあるので、再検討のなかで、検討していただければと思う。

○委員

補助金の額については確定していないが、流れとしては事務局の説明の通り。

○委員

既存の時刻表は、お年寄りでは分かりにくい。もう少し分かりやすいものにしてほしい。西地区から役場へ行くにはどうしたらよいかなど、高齢者向けのものを作っていただくとよい。

○委員

まずは、広報で乗り方の例、活用方法などを示させてもらおうかと思っている。

○委員

お年寄りは広報を見ていない。大きな見出しは見るが。

○事務局

さわやかホールに時刻表を置くとか、高齢者へのことを考えていきたい。

○会長

公共施設では、大きな紙に貼り出すなど、いろいろと考えてほしい。

この計画を承認とすることにご異議はございませんか。承認とさせていただきます。

(4) 広陵元気号運行実施計画について

【事務局説明】

資料4及びワゴン車3台のバリアフリー適用除外について説明。承認後、大和高田市と田原本町の協議会に説明に伺う。

【質疑応答】

○会長

ご意見ご質問はありませんか。

○委員

運賃100円の設定は、何年くらいの予定か。100円は安くて大変だし、場所によっては、200円のところもある。200円くらいも考えられるので、経営が大変になったときには、変更してもよいのでは。

○事務局

近隣市町村の状況を参考に提案させていただいた。奈良交通のバスは、それ以上の金額になっているが、元気号は当面100円と考えている。平成29年度とか30年度に効果検証して運賃の適正化についてご議論していただくことを考えている。

○委員

町の一般会計に影響がないようにしてほしい。

○会長

本町の財政は、県内で4番目に悪いので、その点も考えていく必要がある。

ICカードの利用については、どうなるのか。

○事務局

ICカードについても対応できる車両になる予定です。

○委員

一般路線に使っている当社のICカードがあり、ICOCAやPiTaPaも使っている。4月からは全国の共通ICカードも使えるものになっている。このため、全国から来られても使えるメリットがある。

○会長

乗継のときはどうなるのか。

○事務局

乗継券を発行する。

○委員

乗継のときには、乗継券を使っただき、ICカードは最初の乗車時に使っただき、乗継後には使わない方法で対応したい。

○会長

4月からの乗車人数がどう変わったのか、資料があれば、報告してほしい

○事務局

4月の利用者は、2,716名。3月と比較すると、3月は2,000人程度で

あり、増加している。

○会長

より多くの方に乗っていただくためには、分かりやすい案内が必要。この計画を承認としてよろしいでしょうか。ご意見がないようですので、承認とさせていただきます。

(5) その他

○会長

これからは、意見交換の場としたい。何かお気づきの点があれば。試行運行をやって、事務局に感謝の言葉などはあったか。

○事務局

百済から高田駅には便利になった、広陵高校まで行けるようになった、北校区からエコール・マミに行けなくなった、図書館に行けなくなった、という声がある。直接行けなくなったルートについては、乗継できるように検討していきたい。アンケートでは、比較的、感謝の言葉が多い。

○委員

車イスの方は乗車できるのか。

○事務局

今は車イス対応になっていない。10月からのポンチョ号では対応可能。ワゴン車については、対応できないが、ポンチョ号では対応できる。

○委員

障がい者は50円で、等級は関係ないのか。

○事務局

関係ない。

○委員

運賃について、子ども3人の場合、2人目が50円、3人目も50円か。

○事務局

その通り。

○委員

コープ南郷店が建設中。乗り入れについても頭の中に入れてほしい。

○事務局

企業と調整して乗り入れできるように検討していきたい。

○会長

次回の日程についてお願いしたい。

○事務局

6月中旬から下旬に開催を予定している。

○会長

以上で会議を閉じさせていただきます。